



**サーマル関連機能簡易マニュアル**

**DS-K1TA70MI-T**

**オペレーションマニュアル**

Ver 1.02

# 目次

このマニュアルについて	P.3
外観	P.4
端末の同梱物	P.4
(オプション品) 卓上スタンドについて	P.5
端末の接続	P.5
壁に設置	P.6
端末のログイン	P.7
温度設定	P.7
音声有効化、音量、ライトの明るさの調整	P.8
マスク検知及び顔認証に関する設定	P.9
日付設定	P.10
ログ及びキャプチャーの確認	P.11
データのエクスポート	P.11
クライアントソフト iVMS4200 の運用 :	
PC に iVMS-4200 をインストール	P.12
PC に多言語パッケージをインストール	P.13
iVMS-4200 ログイン方法	P.14
端末の追加	P.15
端末からのイベント通知方法化	P.17
温度異常、マスク未着用アラームの設定	P.18
リアルタイム測温監視	P.24
イベント検索	P.26
ログエクスポート	P.27
附録①パソコンの IP アドレス設定方法	P.28

## このマニュアルについて

- 本マニュアルは DS-K1TA70MI-T のサーマル機能及び基本設定の簡易マニュアルとなります。アクセスコントロール、入退室の設定などは含まれておりません。
- 本マニュアルの端末 Firmware バージョン : V.2.2.6\_20201119、クライアントソフト バージョン : V.3.4.0.9 に対応しております。

## DS-K1TA70MI-T について

本機器は医療器具ではありません。

体温測定前の一次スクリーニング用にご使用ください。

\* 温度異常が出た際には必ず体温計を再度測温してください。

本機器の測温精度は :  $\pm 0.5$  °C

## 測温方法について

測温の際に顔は本機器の正面に向いてください。

測温推奨距離は 0.5~1.5m。

注意 : 測温距離は <瞳孔間距離> の設定によって変わっていきます。設定方法は本マニュアルの P.9 にご参照。

測温の際に帽子、サングラスを外し、前髪は横にしておいてください。

汗をかいているときは測温しないでください。汗は熱を発散するため測温結果に影響を及ぼします。

測温の際には自然な顔にしてください。

## 機器の設置及び設置環境について

本機器は完全屋内でご利用ください。

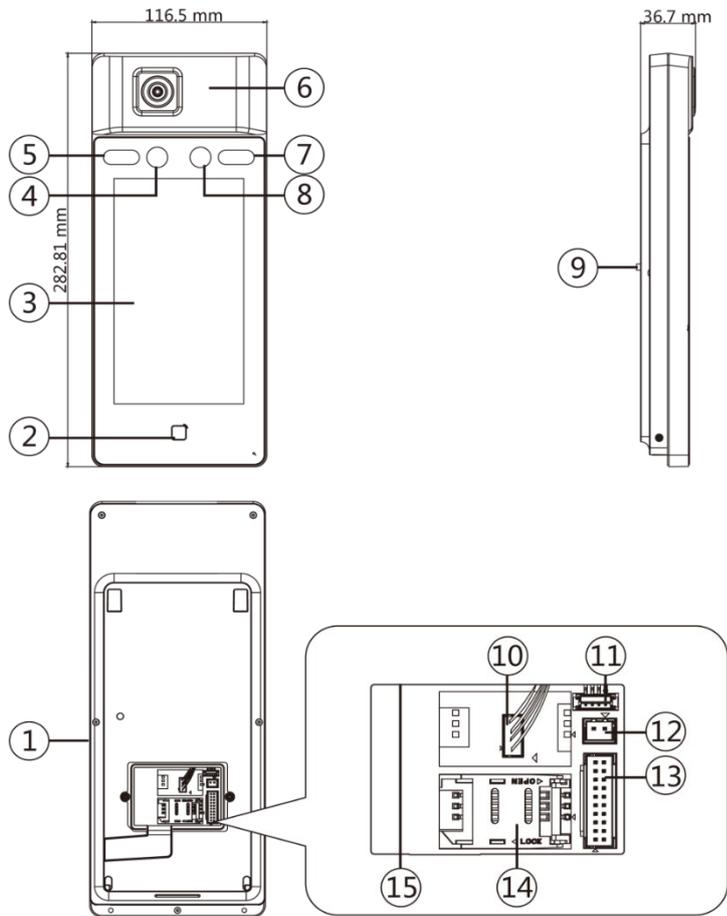
本機器測温有効環境温度は 10 ~35 °C。

本機器を設置する際に照明から 2m、ドアや窓から 3m 離れてください。

設置の際には光を当たらない様にしてください。測温に影響致します。

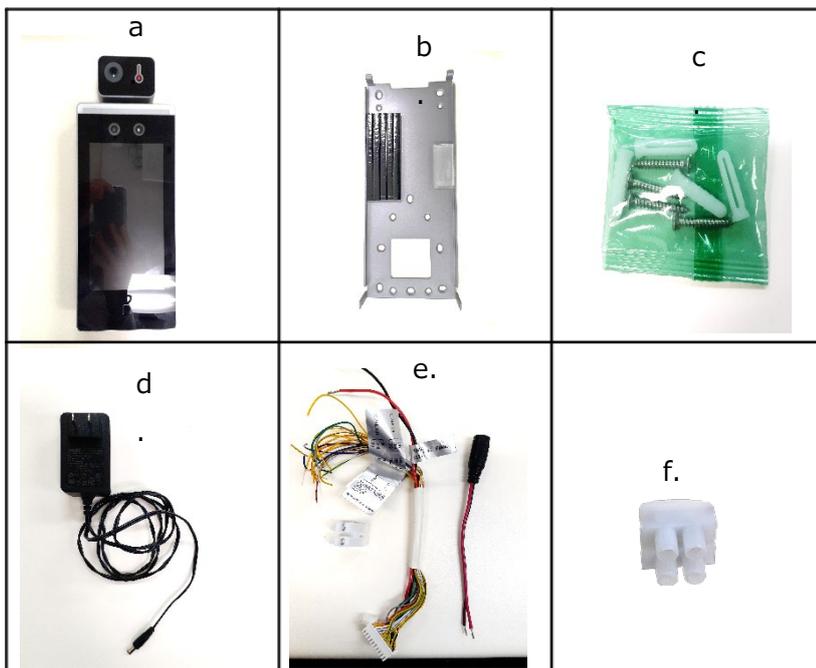
正確な温度を取得するために本機器を電源を入れて 90 分後からの使用を推奨します。

## 外観



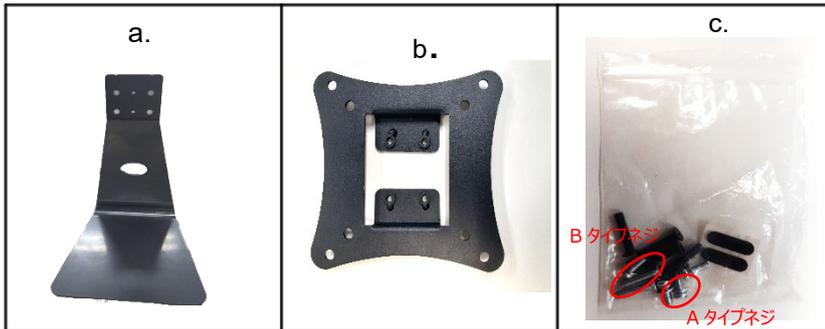
部番	名称
①	USBインターフェース
②	カードの読み取り範囲
③	タッチスクリーン
④	カメラ
⑤	IRライト
⑥	サーモグラフィックモジュール
⑦	IRライト
⑧	カメラ
⑨	タンパー
⑩	サーモグラフィックモジュールインターフェイス
⑪	デバッグポート
⑫	電源インターフェイス
⑬	配線端子
⑭	PSAM カードスロット(予約済み)
⑮	ネットワークインターフェイス

## 端末の同梱物



- a. DS-K1TA70MI-T 端末 x 1
- b. 背面プレート x1 個(卓上スタンド付け用)
- c. ネジ x1 パック(イメージ図)
- d. 電源アダプター x1 個
- e. ケーブル x2 本
- f. 配線コネクター

## (オプション品) 卓上スタンドについて

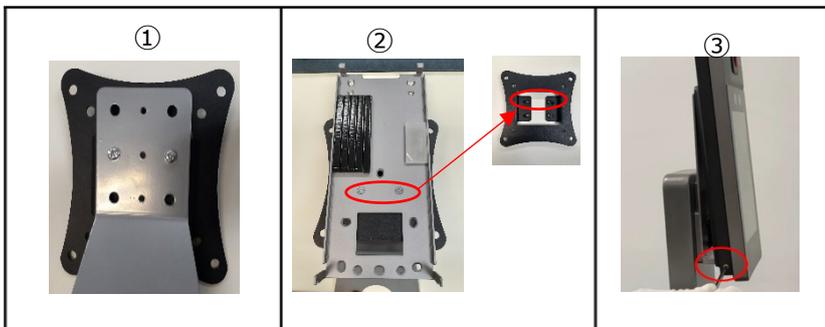


### 内容物の確認

- a. スタンド x1 個
- b. ブラケット x1 個
- c. 付属ネジ x1 パック(イメージ図)

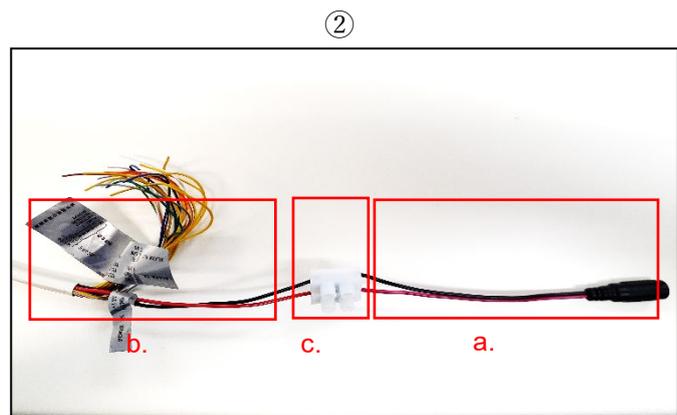
### 設置方法

- ① スタンド中央の二つの穴に、付属の A タイプネジでブラケットを固定します。
- ② 端末と同梱されている背面プレートを、B タイプネジを使用し①で固定したスタンドとブラケットに固定します。
- ③ 端末を固定します。端末を背面プレートの上に乗せ、タブレット下の両側のネジを緩めます。背面プレートの下部フックを端末の中に押し入れ、ネジを締めて端末本体を固定させます。

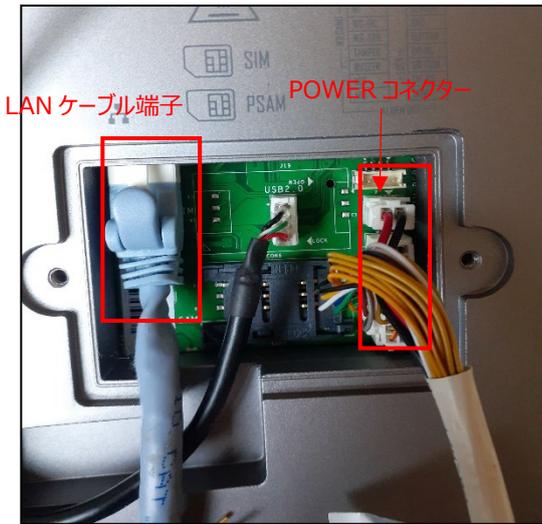


## 端末の接続

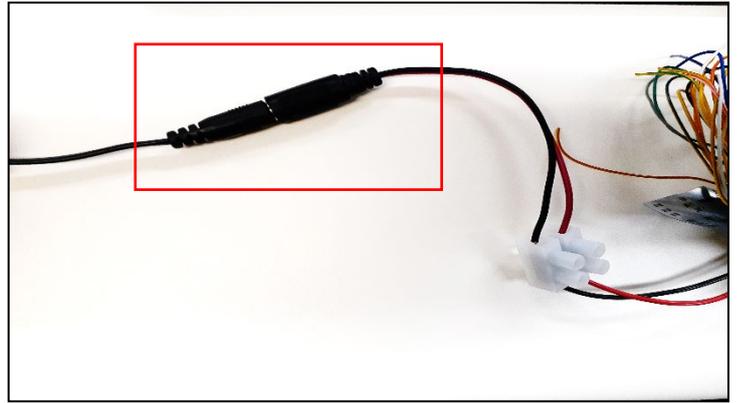
- ① 端末の裏蓋を付属のドライバーを使用して開きます。
- ② 付属の a.電源出力ケーブルと b.(Power In)ケーブルを c.配線コネクターを使用し、接続させます。配線コネクターのネジを緩め、両ケーブル色を合わせて配線コネクターに差し込み、緩まない様にドライバーでネジを締めます。
- ③ 接続したケーブルを端末内部コネクターに差し込みます。(Power In)ケーブルを本体に差し込みます。  
(オプション)クライアントソフトを運用する場合は LAN ケーブルを接続してください。
- ④ 裏蓋を閉めてネジを止めます。
- ⑤ 電源アダプターを電源端子に差し込み本体の電源を入れます。



③

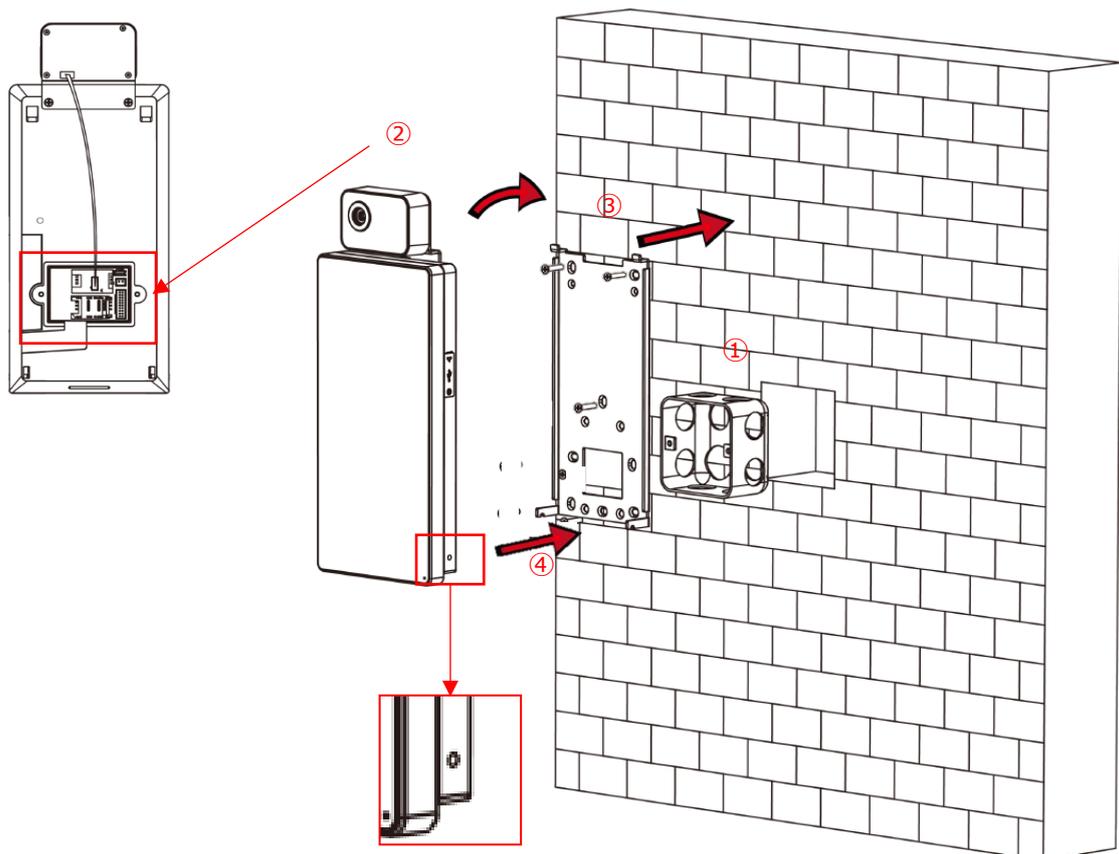


⑤



## 壁に設置

- ① ジャンクションボックスを壁に取り付けます。
- ② 端末を接続します。ケーブル接続方法は P.5 を参照ください。
- ③ 付属の背面プレートをジャンクションボックスの設置位置に合わせて、背面プレートを壁に固定します。付属ネジにて背面プレート上部 2 箇所及び下部 1 箇所、計 3 箇所を固定し、壁に固定します。
- ④ 端末を背面プレートにかけて、端末の下の両側部分にあるネジを緩め、背面プレートの下部フックを端末の中に押し入れます。
- ⑤ 端末下部のネジを締めて端末本体を固定させます。

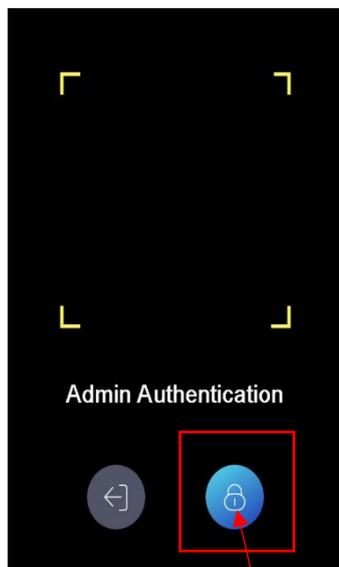


## 端末のログイン

- ① 端末画面を長押しすると、認証画面が表示されます。
- ② パスワードフィールドをタップして、パスワードを入力します。  
「パスワードを入力してください」欄をタップすると、キーパッドが表示されます。  
パスワードを入力します。初期パスワードは **aaaa1234** にて出荷しています。
- ③ 「OK」をタップしてメニュー画面に入ります。

注意：パスワードの入力に 5 回失敗すると、デバイスは 30 分間ロックされます。

①



パスワードフィールド

②



③



## 温度設定

温度設定では温度検出、温度超過アラームしきい値、温度測定モード、測定領域キャリブレーション、測定領域などの測温に関する設定ができます。

- ① メニュー画面で、＜温度設定＞をタップして＜測温設定＞ページに入ります。
  - a. 温度検出有効:【温度検出有効】のボタンを右にタップし体温検出有効化にします。
  - b. 温度アラーム閾値最高（最低）：【温度アラームの閾値(最高)】の数値をタップし、調整画面に入り数値を入力します。OK をタップしたら温度測定のページに戻ります。
  - c. (オプション)測温モードのみ：【表面温度測定のみ】のボタンを右にタップし、測温モードのみにします。
- ② 下記チェック項目を確認し、右上の✓（チェック）をタップして設定を保存します。

\* 温度アラームの閾値(最低)で 35 度以下の温度を設定すると、測温結果として表示はされますが、他、以下も表示されます。

<低い表面温度が測定されました。寒い外気に触れた場合は数分後の再測定をお勧めします。>

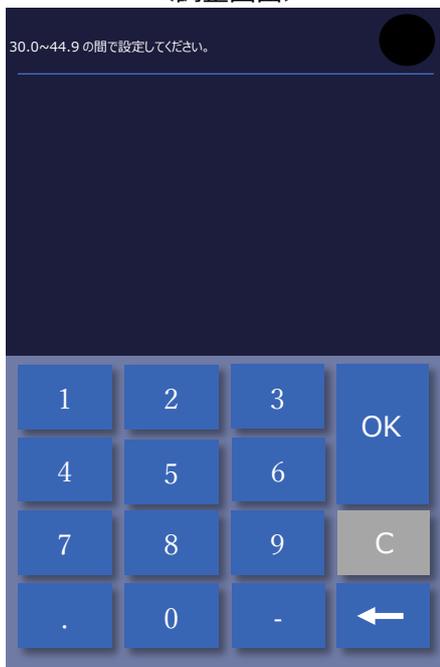
<メニュー画面>



<温度測定ページ>



<調整画面>



## 音声有効化、音量、ライトの明るさの調整

➤ 音声有効化、音量、ライトの明るさの調整ができます。

①メニュー画面で、<システム>をタップして<システム>ページに入ります。

- a. 音声有効化：【音声プロンプト】のボタンを右にタップし、音声を有効化にします。
- b. 音量調整：【音声音量】の数字をタップし、調整画面に入って 1~10 間の数値を入力後、OK をタップしたらシステムのページに戻ります。
- c. LED ライトの設定：【LED 輝度】の数字をタップし、調整画面に入って 0~100 間の数値を入力後、OK をタップしたらシステムページに戻ります。

②下記チェック項目を確認し、右上の✓（チェック）をタップして設定を保存します。

①



②



## マスク検知及び顔認証に関する設定

➤ システム内の顔画像ページでマスク検知、顔認証に関する設定ができます。

①メニュー画面で、<システム>をタップして<顔画像>ページに入ります。

- a. マスク検知：【マスク着用検知有効】のボタンを右にタップし、マスク検知機能を有効化にします。
- b. マスク未着用音声警告：【マスク着用検知有効】を有効化してから【マスク着用必須】の項目が表示されます。  
【マスク着用必須】のボタンを右にタップしてマスク未着用の音声警告を有効化にします。  
\* マスク未着用画面表示のみ希望の場合は【マスク未着用警告】に選択します。
- c. 瞳孔間距離：瞳孔間距離の数値は小さいほど、顔認識の距離が遠くなります。

②【瞳孔間距離】の数値をタップして、調整画面に入って 0~100 間の数値を入力し、**OK** をタップするとシステムページに戻ります。

①



②



## 日付設定

➤ 端末の日時を設定します。

①メニュー画面で、<日付時刻>をタップして時間設定のページに入ります。

時間の日付時刻をタップします。端末の日期と時間が調整できます。

②下記チェック項目を確認し、右上の✓(チェック)をタップして設定を保存します。

①



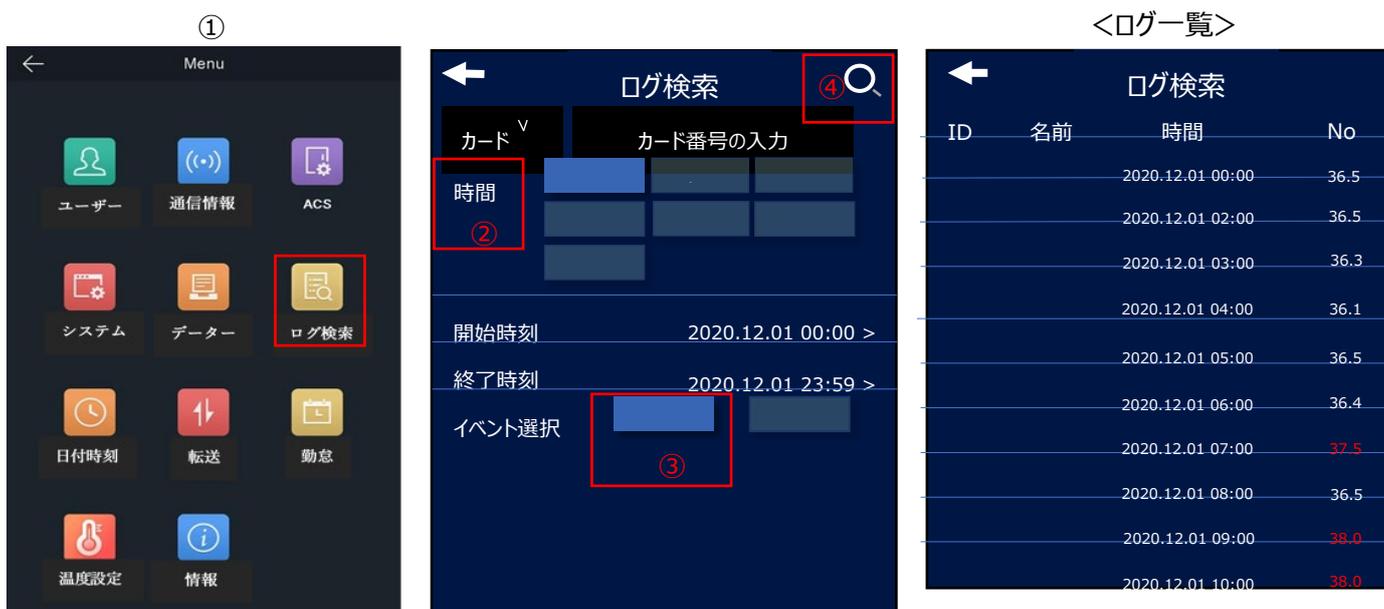
②



## ログ及びキャプチャーの確認

➤ <ログ検索>のページで温度測定記録及びキャプチャーを確認できます。

- ① メニュー画面で、<ログ検索>をタップしてページに入ります。
- ② <時間> でいずれかの時間をタップして、<開始時刻>と<終了時刻>がその時間帯を表示します。<カスタム>を選択した場合は<開始時刻>及び<終了時刻>希望の日時を設定してください。
- ③ <イベント選択>で<温度>を選択します。
- ④画面の右上の検索  をタップして、ログ一覧を表示させます。
- ⑤ログ一覧で個々の履歴をタップしたら、キャプチャーが表示されます。キャプチャーを再度タップしたら非表示になります。



## データのエクスポート

➤ 転送では、イベント(ログ)をUSBメモリにエクスポートできます。

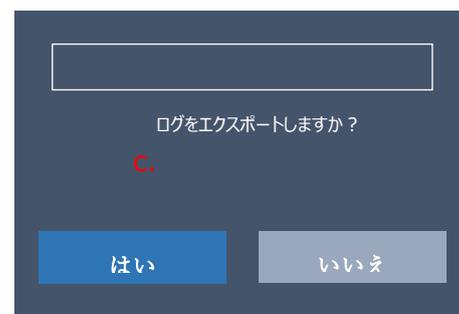
注意：PC上で直接確認出来るデータはイベントのデータのみです。画像データはプライバシーの観点から、全て暗号化されています。エクスポートしてもPC上では確認ができません。但し端末上でキャプチャーは可能です。詳細は<ログ及びキャプチャーの確認>ページ参照。  
他、画像を確認する方法は、クライアントソフトウェアの運用にてご対応下さい。

- ① メニュー画面で、<転送>をタップし<イベント>ページに入ります。
  - a. 【イベント】をタップしてエクスポートの確認ウィンドウが表示されます。
  - b. 端末にUSBメモリを挿入します。(端末本体下部)
  - c. 確認のウィンドウの【はい】をタップして、エクスポートが行われます。

\*エクスポートされるデータは<All event>のファイル名のEXCELファイルです。

  - d. 転送ページ画面上の右上にあるチェックをタップしたらメニュー画面に戻ります。

### <確認ウィンドウ>



② 下記チェック項目を確認し、右上の✓（チェック）をタップして設定を保存します。



## クライアントソフト iVMS4200 の運用： PC に iVMS-4200 をインストール

① iVMS-4200+多言語パッケージをインストールします。



iVMS4200 クライアントソフト



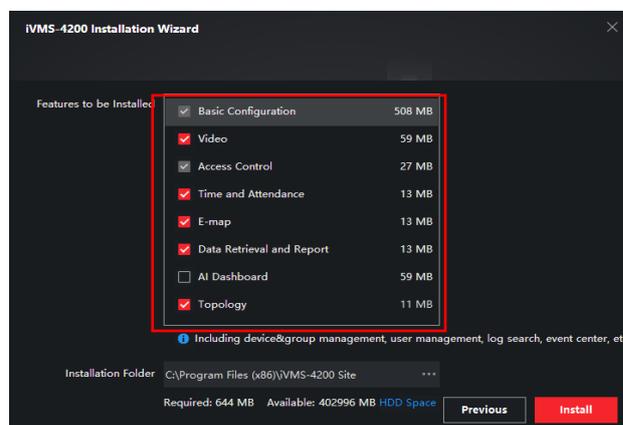
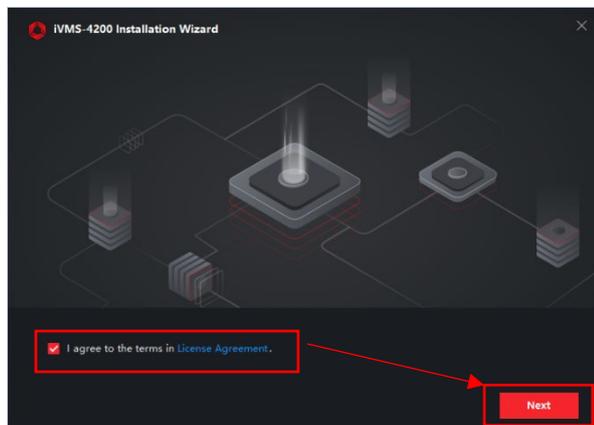
多言語パッケージツール

\* 日本語を対応させるためには本ツールのインストールが必要です。

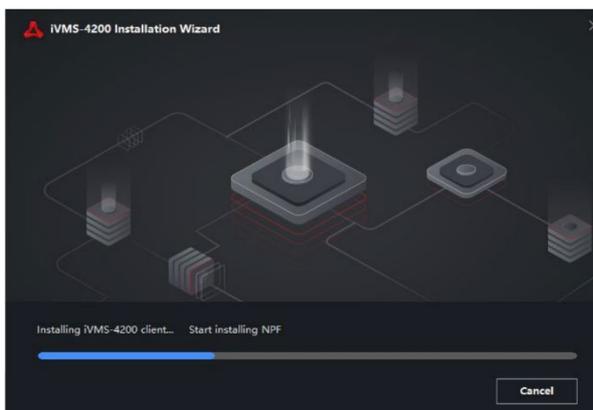
②  をクリックしてインストールを始めます。

a. チェックボックスにチェック入れて、<Next> をクリックします。

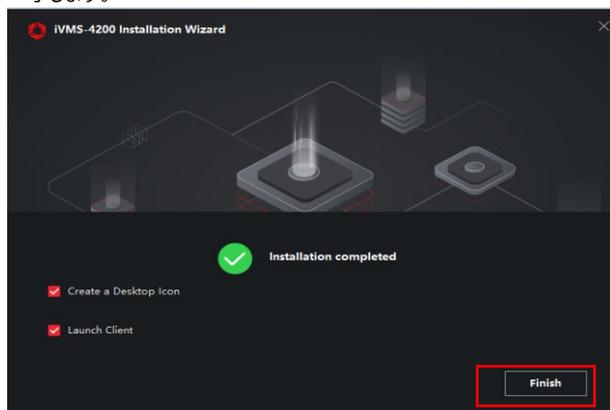
b. インストールする物を選び <Install> をクリックします。※デフォルトのまま構いません。



c. インストールが始まります。



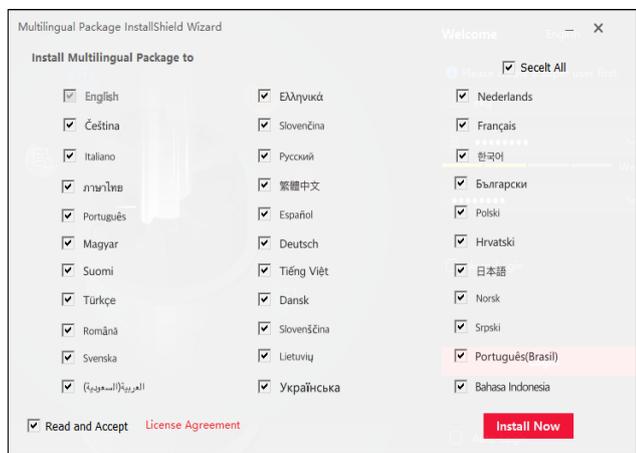
d.インストール完成画面。<Finish>をクリックしてインストールを完了します。



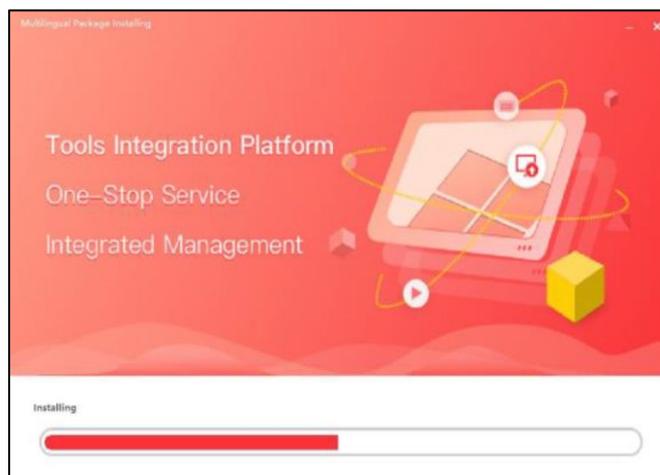
## クライアントソフト iVMS4200 の運用 : PC に多言語パッケージをインストール

③  をクリックして多言語パッケージをインストールします。

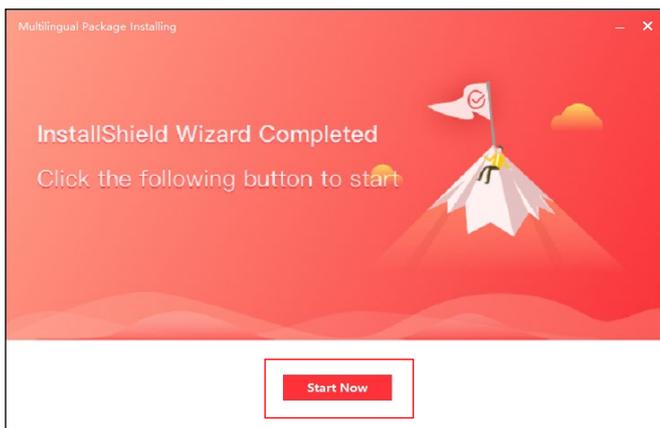
a.<日本語>に☑を入れ、Read and Accept に☑、<Install Now>をクリックします。



b.インストールが始まります。



c.インストール完了画面。<start now>をクリックしてインストールを完了します。



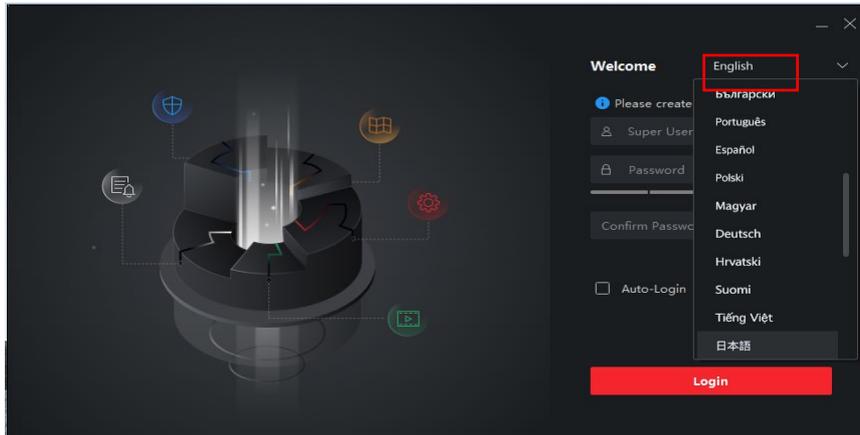
# クライアントソフト iVMS4200 の運用 :

## iVMS-4200 のログイン方法

### ➤ ソフトのセットアップ

- a.  iVMS-4200 を起動し、言語を日本語に選択します。

\* 日本語の選択が出てきてない場合はソフトを再起動してください。



- b. ユーザーIDとパスコードを設定し、ログインをクリックします。



- c. セキュリティ質問を設定し、ログインをクリックします。



# クライアントソフト iVMS4200 の運用： 端末の追加

クライアントソフトウェアにて端末に接続する際は、端末と PC の IP アドレスセグメントを合わせる必要があります。  
端末の初期 IP アドレスは **192.0.0.64** です。端末と PC の IP アドレスは必ず、被らないアドレスに設定をしてください。  
(例：192.0.0.65)

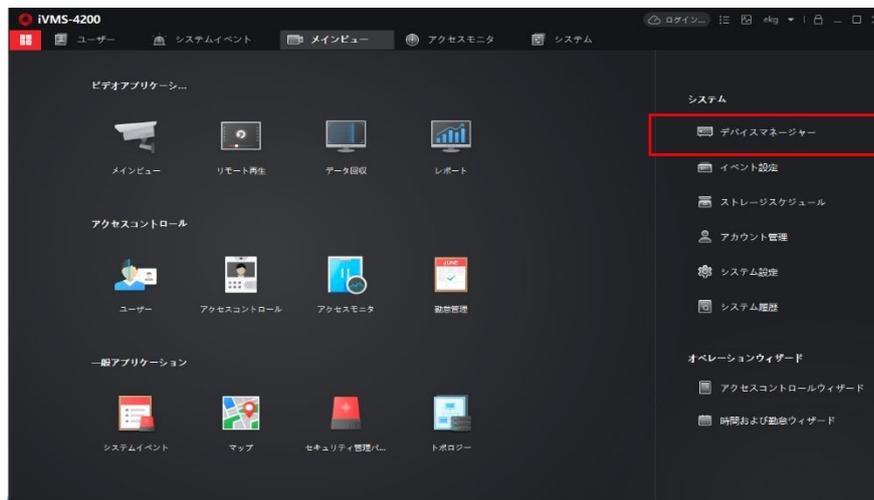
サブネットマスクは **255.255.255.0** で設定します。

**注意：パソコンの IP アドレスをカメラ IP アドレスのセグメントに合わせる必要があります。WEB ブラウザーは IE8 以上をご利用ください。**

設定については**附録②パソコンの IP アドレス設定方法**を確認して下さい。

※必ず PC、ネットワークの詳しい方が操作を行って下さい。

- ① クライアントソフトにログインします。メインメニューの右側のシステム一覧から端末マネージャーをクリックします。\* 画面左上にある  をクリックするとメインメニューに戻ります。



- ② a.システム→b.システム→c.【オンラインデバイス】  をクリックすると、画面の下部にオンラインになっている端末情報が表示されます。端末のチェックボックスをクリックし、追加をクリックします。



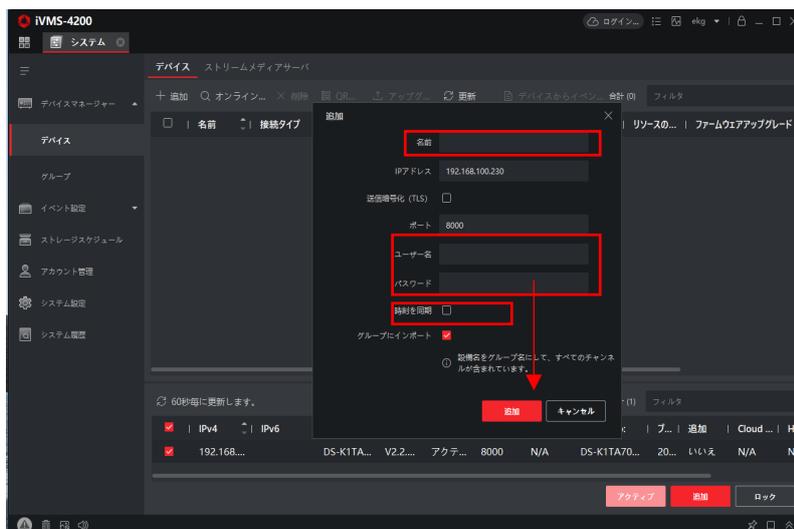
# クライアントソフト iVMS4200 の運用 :

## 端末の追加

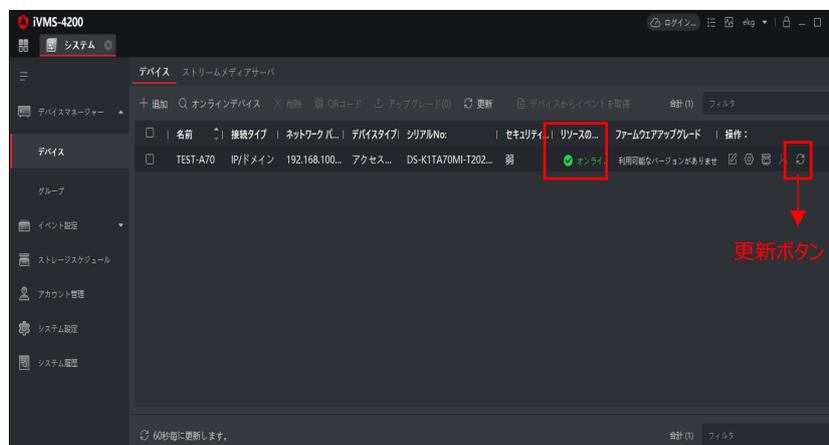
③追加のポップアップウィンドウが表示されます。名前（任意の名称）を入力しユーザー名とパスワードを入力します。端末の ID&パスワードを入力し、追加をクリックします。

初期値：ユーザー名：admin、パスワード：aaaa1234

(オプション) 時刻同期をチェックすると、接続している端末の時刻と同期します。



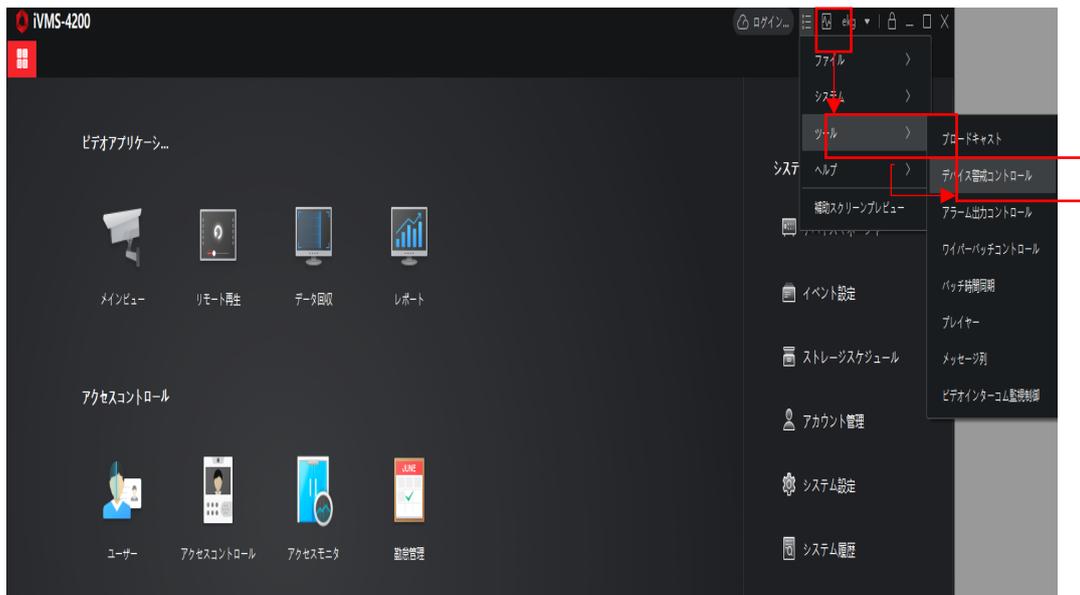
④下部図の様に、追加された端末は画面上に反映されます。接続が成功した場合、<リソースの利用状況>は<オンライン>と表示されます。<オフライン>になっている場合は<更新>をクリックします。<オンライン>を表示しない場合は、PCのネットワーク設定を再度確認します。設定方法については**パソコンの IP アドレス設定方法**を参照します。



# クライアントソフト iVMS4200 の運用： 端末からのイベント通知方法

クライアントソフトが端末からのイベント通知（温度異常、マスク未着用など）を受信できるように設定します。

①クライアントソフトの右上にある【メニュー】をクリックし、ツール→デバイス警戒コントロールをクリックします。

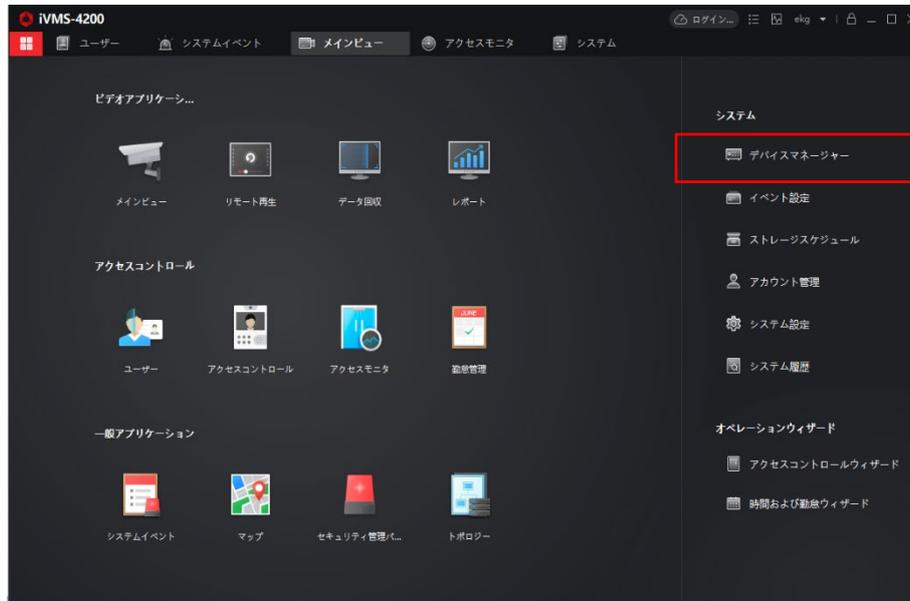


②接続している端末の操作を有効化します。警戒ステータスは下図の様に、緑色で**警戒**を表示します。



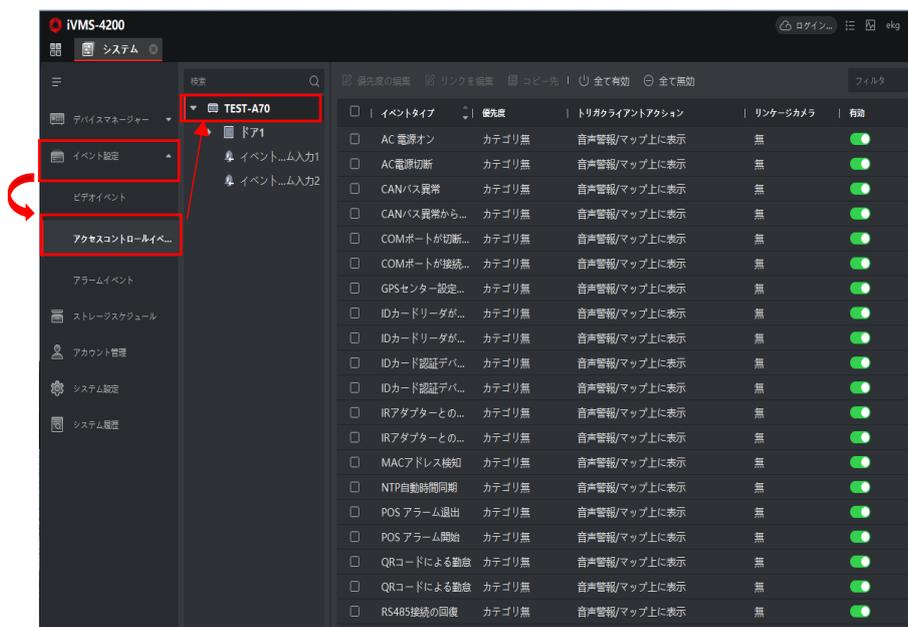
# クライアントソフト iVMS4200 の運用 : 温度異常、マスク未着用アラームの設定

- ① 画面左上の  をクリックします→メインメニュー右側のシステム一覧からデバイスマネージャーをクリックします。



- ② イベント設定→アクセスコントロールイベント→【名前（任意の名称）】をクリックします。名称は任意で設定した名前が表示されます。

クライアントソフト iVMS4200 の運用 : 端末の追加を参照してください。



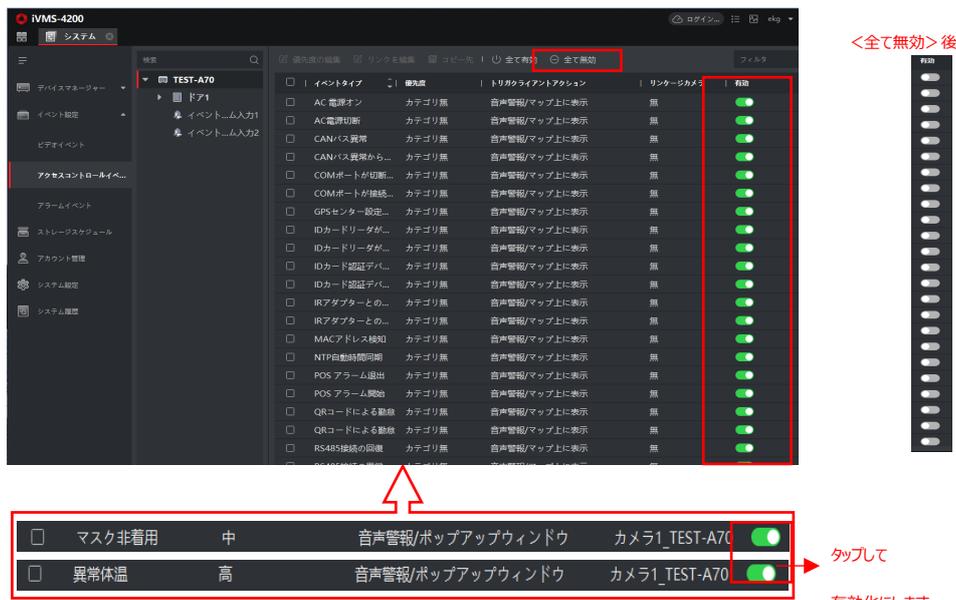
# クライアントソフト iVMS4200 の運用： 温度異常、マスク未着用アラームの設定

③全て無効をクリックし、マスク未着用及び異常体温のみを有効にします。

有効の場合は緑色に変わります。

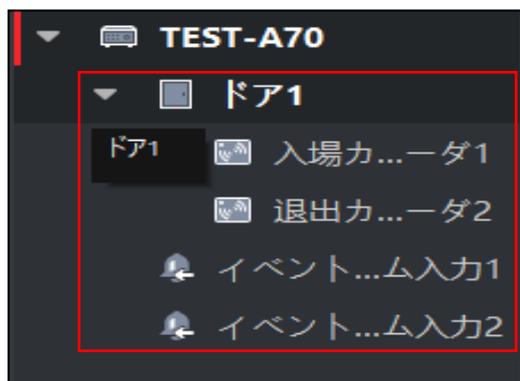
※端末の設定は【体温測定のみ】機能を有効にする必要があります。温度設定を参照ください。

※イベント検索で【異常体温】、【マスク非着用】を絞りたい場合はそのほか【皮膚表面温度】項目を直し【優先度の編集】を行います。高、中、通常 から優先度を設定します。



④端末以外のドア、入/出場カードリーダー、イベントアラーム入力/出力などのページに進み全て無効にします。

注意：任意の名称以外表示されていない場合名前左の▶をクリックすると▼に変わり、隠れている項目を表示させます。



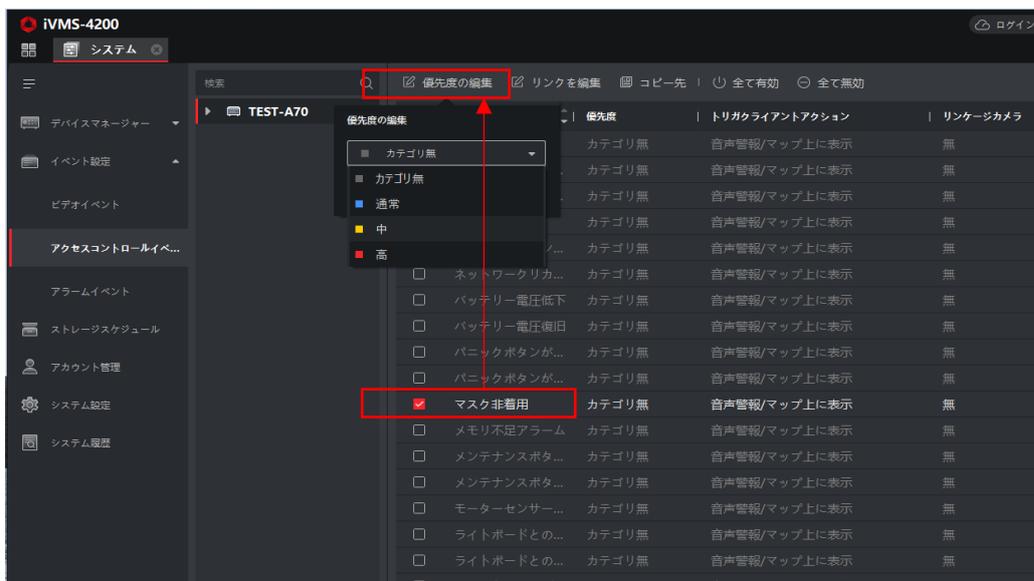
# クライアントソフト iVMS4200 の運用 : 温度異常、マスク未着用アラームの設定

⑤温度異常、マスク着用のイベント優先度を設定します。個々のチェックボックスに☑をチェックいれ【優先度の編集】

 優先度の編集

をクリックします。高、中、通常から優先度を設定します。

注意：同時に複数の項目を設定することはできません。必ず、1 つずつ☑を入れ【優先度の編集】 【リンク編集】を行います。



⑥温度異常、マスク非着用のイベントリンクを設定します。個々のチェックボックスに☑を入れ【リンク編集】

 リンクを編集

をクリックします。クリックすると、リンクの編集メニューが表示されます。

注意：同時に複数の項目を設定することはできません。必ず、1 つずつ設定を行います。

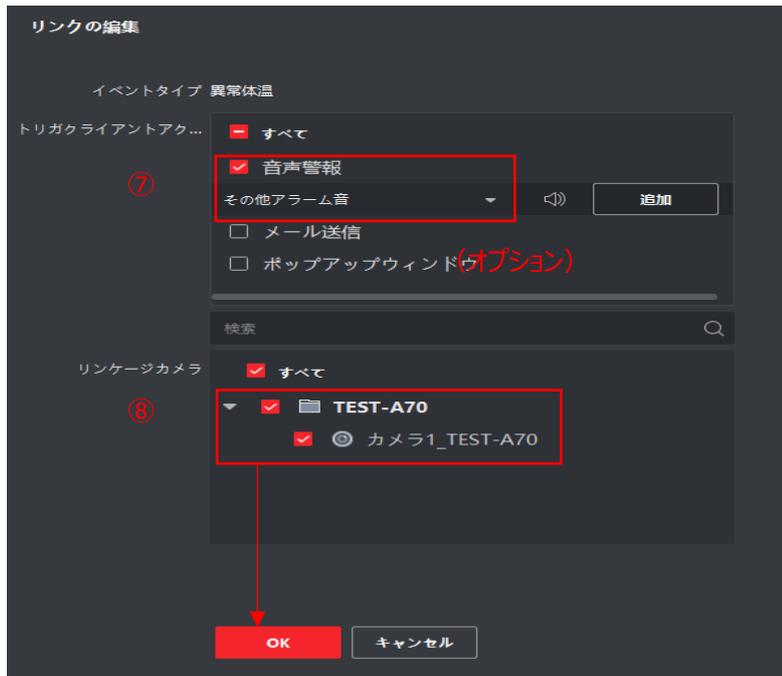


# クライアントソフト iVMS4200 の運用： 温度異常、マスク未着用アラームの設定

⑦ 音声警報のチェックボックスをチェック入れて、下のスクロールメニューから音声を選択します。

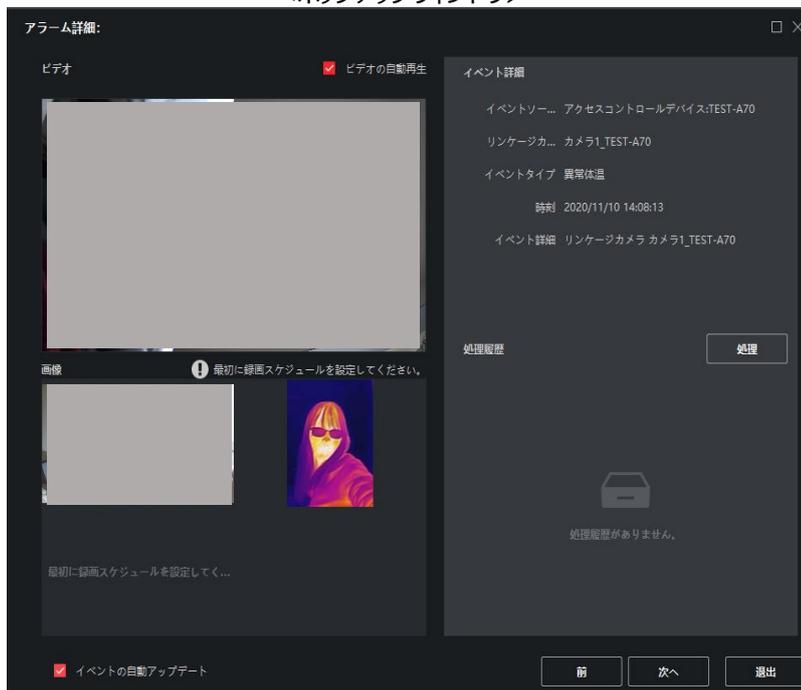
 をクリックすると音声を確認できます。

⑧ リンケージカメラで接続されてる端末にチェック入れて、OK をクリックします。



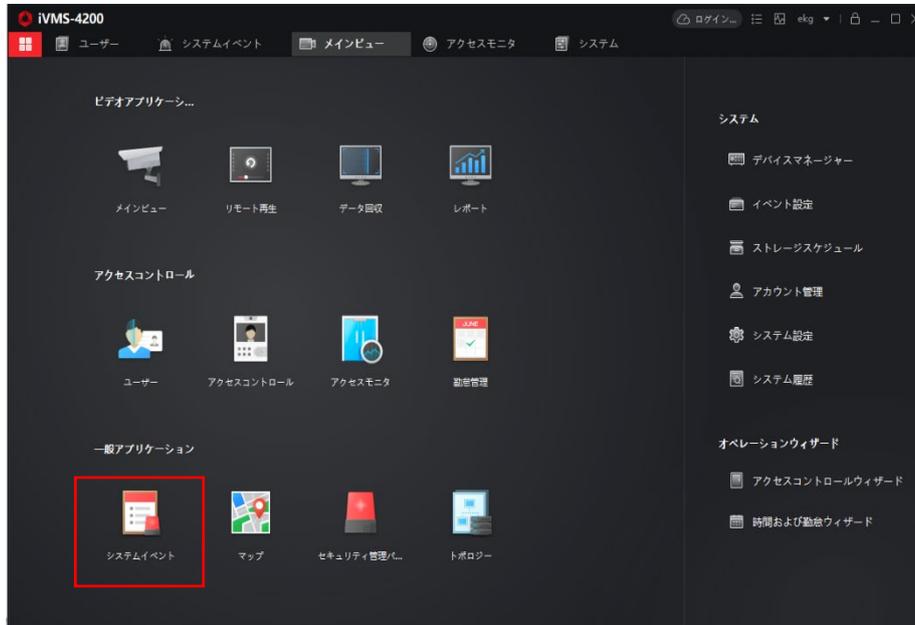
(オプション)ポップアップウィンドウを設定した場合、イベントがトリガーの際に PC 画面上でポップアップウィンドウが表示されます。

## <ポップアップウィンドウ>

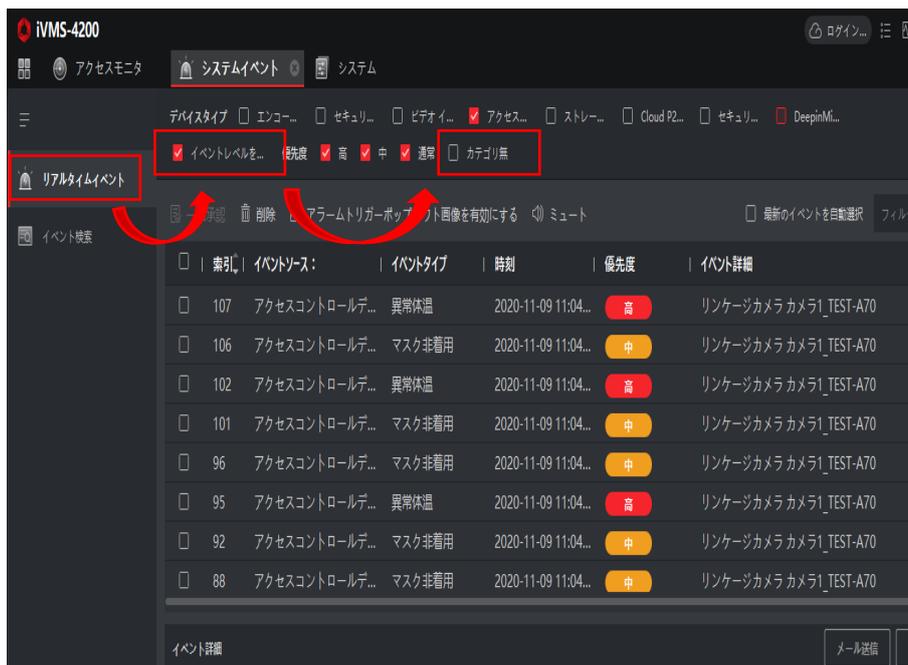


# クライアントソフト iVMS4200 の運用： 温度異常、マスク未着用アラームの設定

⑨画面左上の  をクリックします→システムイベントに進みます。

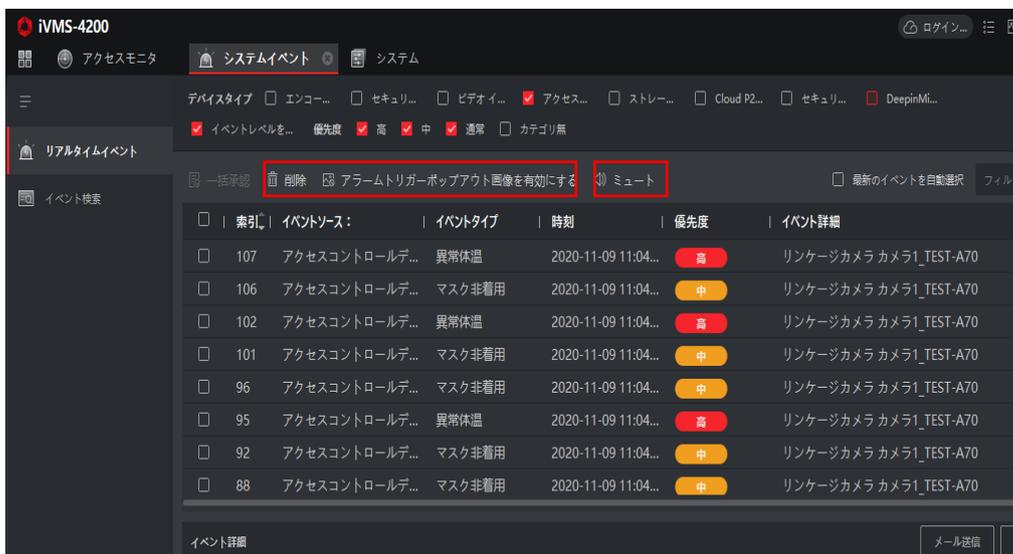


⑩リアルタイムイベント→イベントレベルを表示のチェックボックスをチェック入れて、**カテゴリ無**のチェックを外します。



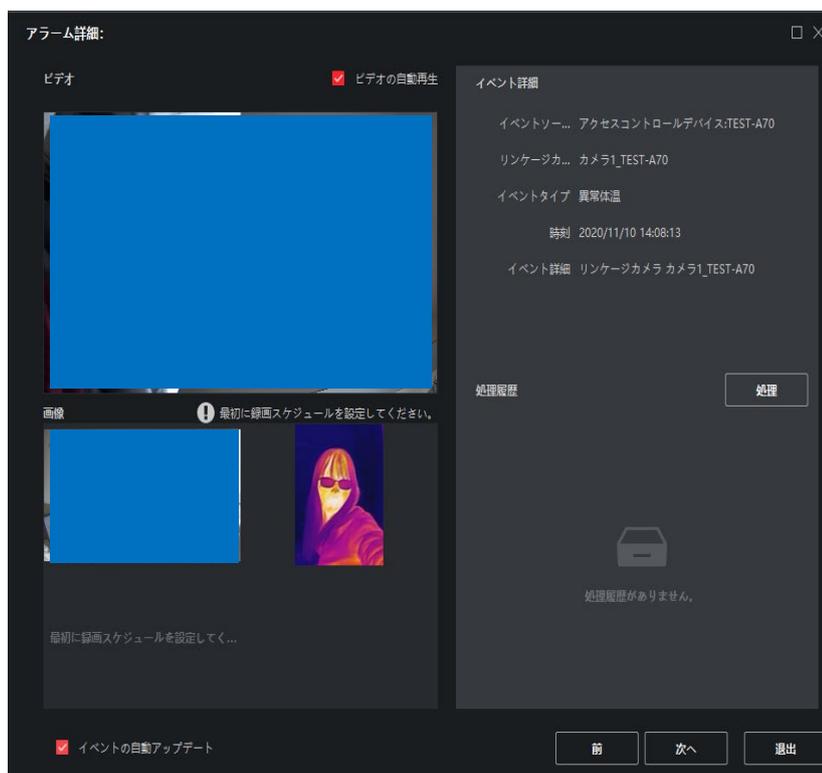
# クライアントソフト iVMS4200 の運用： 温度異常、マスク未着用アラームの設定

⑪【音声オン】  をクリックし、ミュートになることを確認してください。



ポップアップウィンドウを設定した場合、イベントがトリガーの際に PC 画面上でポップアップウィンドウが表示されます。ポップアップウィンドウを設定した場合は**アラームトリガーポップアウト画像を有効にする** をクリックし【アラームトリガーポップアウト画像を無効にする】になっているか確認します。

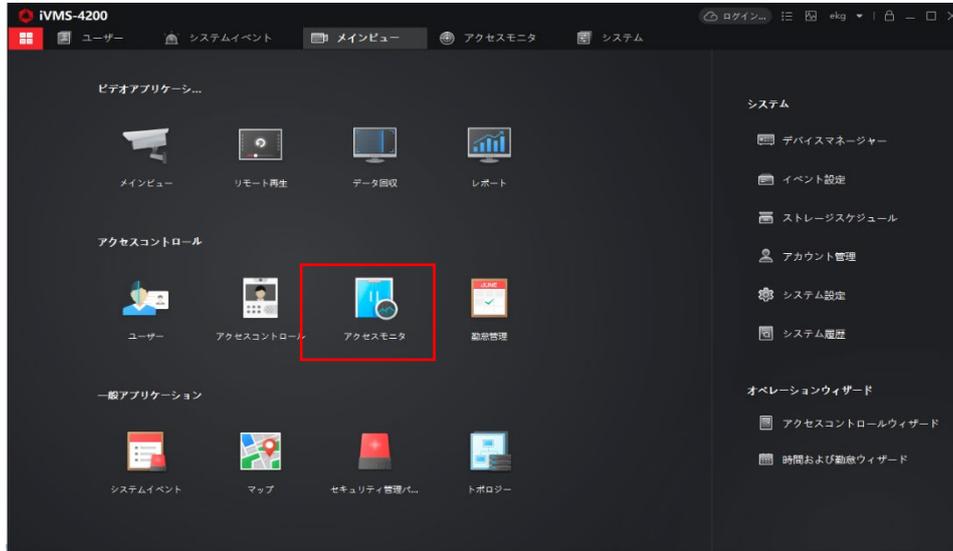
## <ポップアップウィンドウ>



# クライアントソフト iVMS4200 の運用： リアルタイム測温監視

リアルタイム測温結果はアクセスモニタにて表示されます。

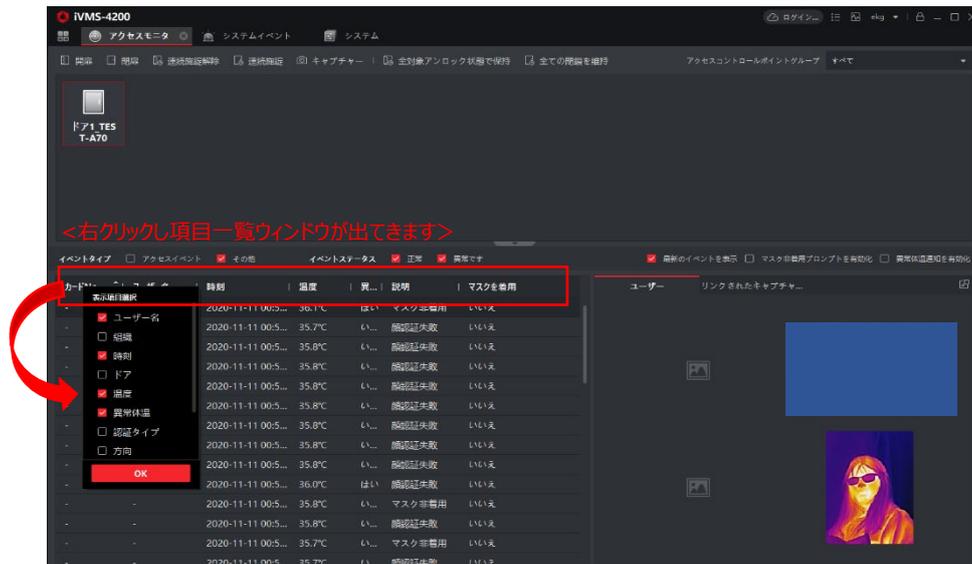
①画面左上の  をクリックします→アクセスモニタに進みます。



②表示項目の編集は以下を行います。

- 下記図の表示上でマウス右クリックして**表示項目選択**ウィンドウを表示させます。
- 表示させたい項目にチェックを入れます。表示させない項目はチェックを外し OK をクリックします。

\* 表示名が見えにくい場合は幅を調整します。マウスカーソルを表示名の中の線に移動し、線をクリックしながら右方向にドラッグして調整できます。

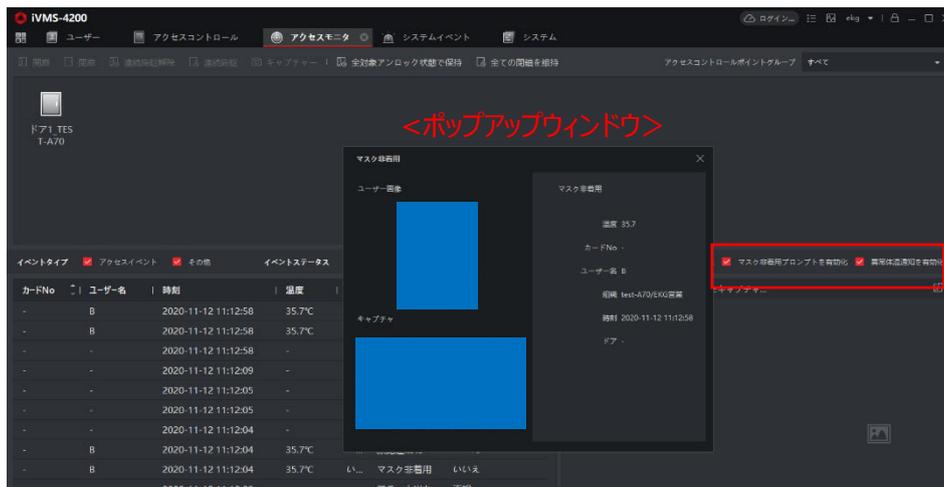


# クライアントソフト iVMS4200 の運用： リアルタイム測温監視

この設定を行うと、イベントが発生した場合、ポップアップウィンドウが表示され、キャプチャー画像が表示されます。

③【マスク非着用プロンプトを有効化】  マスク非着用プロンプトを有効化 と【異常体温通知有効化】  異常体温通知を有効化 にチェック入れます。

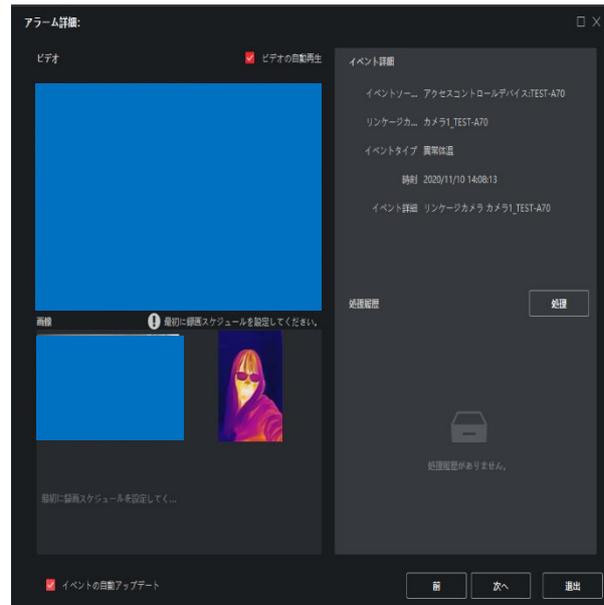
注意：温度異常、マスク非表示アラーム設定でポップアップウィンドウを設定した場合は、該当ウィンドウも同時に表示されます。



<リモート監視ポップアップウィンドウ>



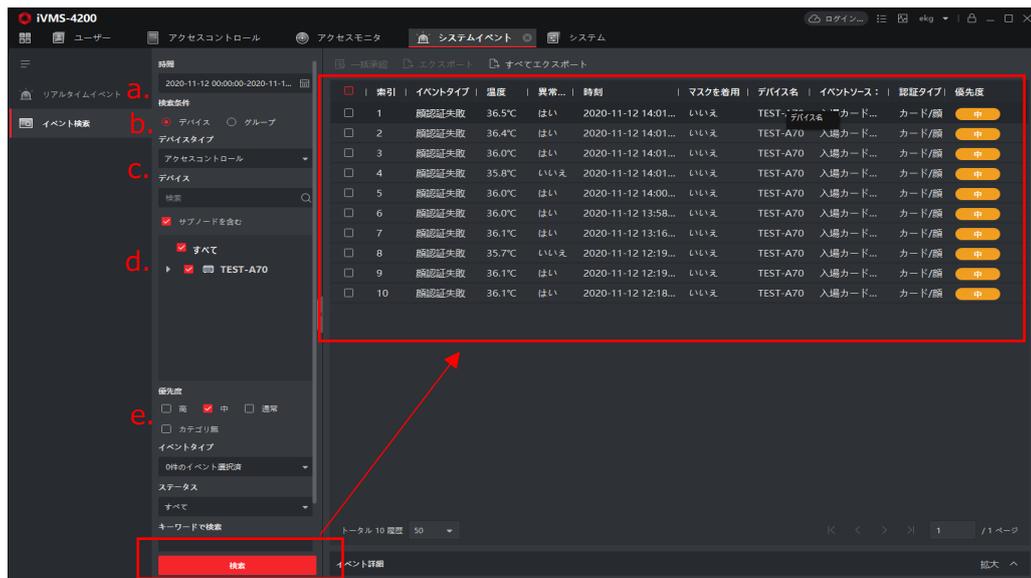
<アラームポップアップウィンドウ>



# クライアントソフト iVMS4200 の運用： イベント検索

\*【異常体温】、【マスク非着用】は検索結果に表示されない項目のため、該当条件で絞りたい場合は【皮膚表面温度】のイベント項目を有効化、優先度を設定且端末を【测温モードのみ】を ON する必要があります。

①画面左上の  をクリックします→システムイベントに進みます。



②イベント検索をクリックします。

- 時間：日付時刻を設定します。
- 検索条件：デバイスを選択します。
- デバイスタイプ：アクセスコントロールを選択します。
- デバイス：リストから接続されてる端末にチェックを入れます。
- イベント優先度を選択しチェック入れます。

\*【異常体温】、【マスク非着用】に絞りたい場合は【皮膚表面温度】に紐づける優先度を選択してください。

検索をクリックすると右側にイベントの一覧が表示されます。

索引	イベントタイプ	カードホル...	カードNo	異常体温	デバイス名	イベントソース	方向	MACアドレス	認証タイプ	カードタイプ	カードリダ...	優先度	ステータス
1	皮膚表面温度高温			はい	192.168.100.66		無		-	無効	無効	高	未承認

<右クリックすると項目一覧ウィンドウが出てきます>

表示項目の編集は以下を行います。

- 上図の表示上でマウス右クリックして**表示項目選択**ウィンドウを表示させます。
- 表示させたい項目にチェックを入れます。表示させない項目はチェックを外し **OK** をクリックします。

表示名が見えにくい場合は幅を調整します。マウスカーソルを表示名の中の線に移動し、線をクリックしながら右方向にドラッグして調整できます。

# クライアントソフト iVMS4200 の運用： ログのエクスポート

① イベントログをすべてエクスポート：表示されてるイベントログをすべてエクスポートする場合は【すべてエクスポート】

すべてエクスポート をクリックします。



② 個別イベントログをエクスポート：表示されてるイベントを個別にエクスポートする場合は個々のチェックボックスをチェック入れて【エクスポート】 エクスポート をクリックします。



③ 下図が表示されます。エクスポートタイプでエクスポートしたいデータを選択します。保存パスの [...] をクリックし保存先及びファイル名を設定しますエクスポートをクリックします。エクスポートされるファイルは【画像フォルダ】 +【CVS ファイル】 になります。



# 附録① パソコンの IP アドレス設定方法

カメラの設定画面に入るには、パソコンの IP アドレスをカメラ IP アドレスのセグメントに合わせる必要があります。

コントロールパネルを開き、表示方法をカテゴリに変更します。

以下手順に従い、PC の IP アドレス変更します。IP アドレスは必ず被らない IP アドレスを指定します。

サブネットマスクは 255.255.255.0 です。

## イーサネットまたはローカルエリア接続を

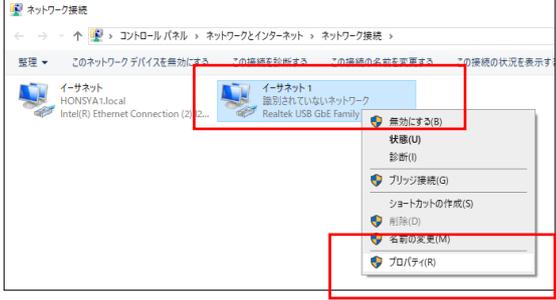
右クリックしてプロパティを選択

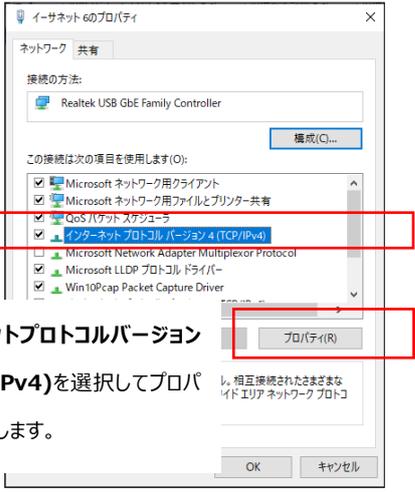
- 

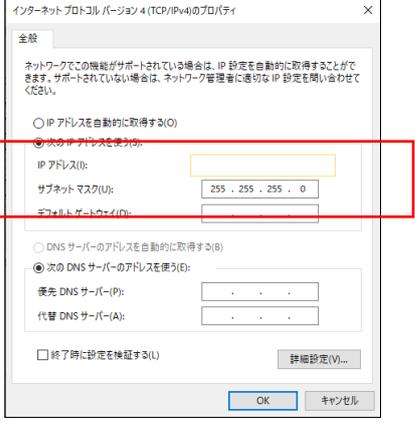
① コントロールパネルの表示方法を「カテゴリ」に変更します。
- 

② ネットワークとインターネットを選択します。
- 

③ ネットワークと共有センターを選択します。
- 

④ ネットワークと共有センターの「アダプターの設定の変更」をクリックします。
- 

⑤ ネットワーク接続画面で「イーサネット 1」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- 

⑥ 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択してプロパティをクリックします。
- 

⑦ IP アドレスとサブネットマスクを入力し、完了時に設定を確認するにチェックを入れます。



***ELMO K-grande Corporation***

販売元

株式会社 エルモケイ GRANDE